

令和2年度学校運営方針

千葉県立船橋芝山高等学校

1 教育目標

校訓である「真情・真剣・英知」を体現し、心身ともに健康で、自ら判断し行動できる人間を育成するために、学習指導・生徒指導・進路指導を組織的、効果的に実践して、魅力ある教育活動を展開し、生徒一人ひとりの能力や個性の伸長を図ります。

そして、学校生活が楽しく、有意義で、将来の夢の実現に向けて、生徒が自ら意欲的に取り組める教育活動を展開します。

2 重点目標

- (1) 指導方法・評価方法の工夫・改善を行い主体的・対話的で深い学びに取り組むことで、自分の進歩を実感でき、生徒が興味を持って勉強したいと思える授業を展開し、「第一志望」の進路実現を目指します。(学習指導)
- (2) 学校生活の様々な場面で確かな生徒理解に努め、マナー、モラルの向上を図り、基本的な生活習慣を自ら確立できるよう適切な指導を組織的に行うとともに、活力ある部活動や課外活動を推進し、豊かな心と健やかな体を育み、明るく、安心・安全な学校づくりを推進します。(生徒指導)
- (3) 学校運営上の課題や自らの役割を理解し、積極的に活動するとともに、担当する校務を適切に遂行し、課題解決に努め、学校の教育力向上を目指します。(校務分掌)
- (4) 学校教育目標の実現に向けて、職員間で連携して業務にあたるとともに、小・中・高連携や地域との連携を図り、生徒、保護者及び地域から信頼される開かれた学校づくりを推進します。(調整・連携)

3 指導目標値

- (1) 保護者・生徒の満足度80%以上を目指します。
- (2) 年間出席率99%以上を目指します。
- (3) 実進路決定率90%以上を目指します。
- (4) 部活動加入率85%以上を目指します。

4 具体的な教育活動

(1) 重点目標1

- ① 教員相互の授業見学や生徒の授業評価等を活用し、「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業の工夫・改善に取り組むことにより、質の高い学びを実現します。
- ② 生徒一人ひとりに応じたきめ細かな学習指導と家庭学習の習慣化に組織的に取り組みます。
- ③ 組織的で系統的な取組を進めるとともに、個別の進路相談等の機会を生かした、積極的に自己実現を目指した進路指導の充実を図ります。
- ④ 新学習指導要領や高大接続改革に向けたカリキュラムマネジメントやキャリア教育について対応を進めます。

(2) 重点目標2

- ① 登校指導や生徒による主体的な活動を通じて、挨拶の励行、マナーの向上を図り、自律した学校生活を送れるよう、生徒指導の充実に組織的に取り組みます。
- ② 教育相談活動の充実や特別支援教育の推進等により、個に応じた生徒指導の進展を図ります。
- ③ 部活動や特別活動において、地域等との連携を図りながら、計画的な活動方針に則して、学習意欲の向上や望ましい人間関係を育み、生徒の幅広い人格形成を目指します。

(3) 重点目標3

- ① 各分掌の目標の明確化や各委員会の活性化を進めるとともに、各分掌間の課題の共有を図り、時間管理に基づいた組織的かつ効率的な学校運営を推進します。
- ② 職員は、教育公務員として研究と修養に努め、職責を自覚し、それぞれの職務に取り組むとともに、風通しのよい、一体感のある職場づくりを推進します。

(4) 重点目標4

- ① 職員間の連携を図るとともに保護者と学校の密接な連絡体制の構築と情報提供の充実を目指します。
- ② 学校種を超えた交流や地域との交流を目指し、防災などをテーマとした地域連携を図ります。